

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.jp



NO.523 2023.2.9
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

公立保育園の統合、大規模化、民営化 ストップ!

民間園でのあいつぐ事故、不適切保育… もうけや効率でなく、子どもの命・育ちを最優先に

江南市は、図書館跡地を利用して200人をこえる大規模保育園を建設・運営する民間保育企業を募集しようと、計画を急いでいます。

市立あすま保育園と中央保育園の2園を廃止し、これらを統合する民間保育園の開園を2026年4月に予定。事業者の公募を今年6月から開始する計画です。パブリックコメントを2/7から3/8まで実施中で、事業者選定手続きに関わる予算が3月定例会に提案される恐れがあります。

しかし、年々増え続ける重大事故や虐待などの不適切保育は、多くがもうけ優先の民間保育園で起きています。たださえ国の保育士配置基準が低すぎる上に、民間保育園では経験の浅い保育士を多く採用して給与を低く抑え、ギリギリの人数配置で儲けを

出そうとします。障害児保育は後回しにされかねません。保育園の適正規模は園児100人程度まで。200人を超えると目が届かず事故のもとになることは明らかです。

一方市は、現在の江南市立の18保育園を2055年度までに11園に統合する、地域ごとの「市立保育所等の配置に関する基本方針案」についてのパブリックコメントも2/7から開始しました。(締め切りは3/8)

もうけや効率を優先するのではなく、子どもたちの命と健やかな育ちを最優先に、適切な規模の公立保育園となるように建て替えをすすめさせましょう。

18園⇒11園に統合、大規模化をねらう長期計画 市立保育園の配置基本方針案

地区	施設数		備考
	現在	統合後	
古知野地区	7	4	2園ずつ2か所統合し、うち1園は統合に伴い民営化
布袋地区	4	3	2園を1園に統合
宮田・藤ヶ丘地区	4	2	2園ずつ2か所統合
草井地区	3	2	2園を1園に統合
計	18	11	



動き出す大型事業、曾本地区の工業用地整備

新型コロナウイルス感染症の影響や新たな財政負担の大きさへの懸念から、2020年3月定例会の附帯決議を受けストップしていた大型事業を来年度から開始する方針であると、市当局は2月8日、発表しました。

また3月補正で3億円積立て、5.5億円も整備基金保有

2021年2月に策定した整備方針に基づいて、市南端の曾本地区にある広大な農振農用地を工業団地に造成する長期の大型事業です。

再開にあたり市は、「現状でも曾本地区に対する企業ニーズは高いと判断」「整備基金を設置し、必要な財源の確保に努めている」「供給できる用地をできる限り多く確保するために、開発区域は想定最大面積16.8haを前提」などと説明しています。

工業用地整備には、埋蔵文化財調査や関連道路の整備、交差点改良工事など巨額の財政負担も必要。進出企業の法人市民税収で、投入した財政負担が首尾よく回収できるようになるまでには相当な期間が必要です。

大型事業よりも、高く払えない国保税の引き下げ、物価高騰対策などの市民生活支援、傷んだ生活道路整備、学童保育の待機解消などの身近な暮らし支援策にこそ、今、財源を使う時ではないでしょうか。ご意見をお寄せ下さい。

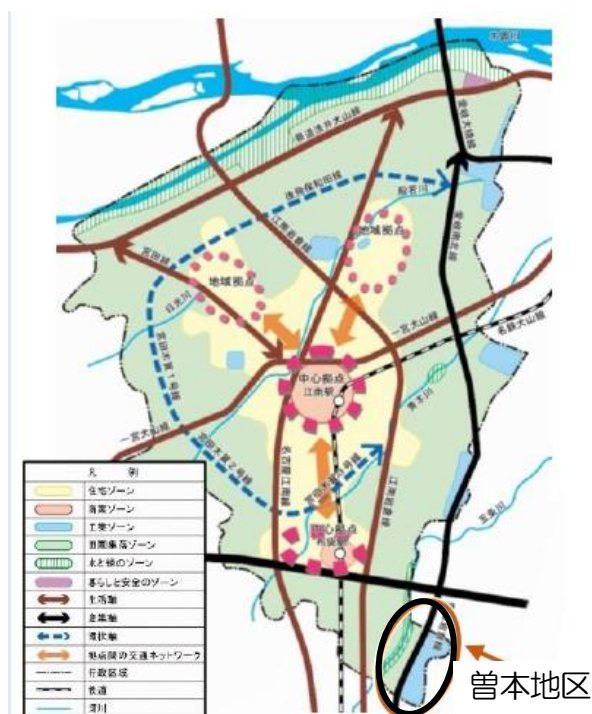


図 曾本地区の位置図